



IMJ NEWS LETTER

発行: 一般社団法人 日本統合医療学会 本部 〒113-0023 東京都文京区向丘1-6-2 Email : info@imj.or.jp FAX : 03-3812-5167

“年頭の辞”

一般社団法人日本統合医療学会

理事長 渥美和彦

皆様、明けましておめでとうございます。

平成24年の幕開けに当たり、日本統合医療学会の理事長として年頭の辞を述べさせていただきます。

昨年は東日本大震災という未曾有の自然災害に見舞われ、わが国は多くの尊い生命を失い、多くの被災者を出し、莫大な経済的、社会的被害を受けました。

その時に日本人が発揮した勇気と社会の絆は世界でも高く評価されました。そして、私たちは身を以て自然と人間の共生の尊さを知り、改めて有限なる地球資源の大切さに気付き、“人類生存”の真の意義を学びました。

また、同様に経済界も大きな被害を受け、政界の改変、ヨーロッパ経済危機、北朝鮮の金正日氏の逝去なども続発し、十分な社会の舵取りが為されなかった事は事実であります。

医療界もまた、震災被害者に対する十分な治療や救済を必要とする患者への対応、更には原発事故に伴って発生した放射線被爆への対処などに追われる慌しい年となりました。このような様々な困難な事情が続き、統合医療の普及と推進に関しても遅れざるを得ない状況でした。

しかし、本年1月には、大宮ソニックシティ（さいたま市）において、『第15回日本統合医療学会学術大会』の開催が予定されており、例年に優るとも劣らない素晴らしい学術プログラムが用意されています。

さらに、2月には米中韓の統合医療の専門家と我が国を代表する統合医療とがんの専門家25人が一堂に会し、国際シンポジウム“統合医療におけるがんの予防と治療”が開催されます。

まさに、今年は昇竜の年、統合医療が飛躍する年です。

統合医療の推進には学会はもとより、政界、経済界の理解や支援が必要であることはいうまでもありません。

間違いなく、統合医療は必然的に発展するポテンシャルを秘めているのです。

その理由について昨年より述べていますように

- 1) 東西文明の衝突と融合という見地からの歴史的必然性
- 2) 地球資源の有効配分というエコ医療という見地からの地球的必然性
- 3) 医療の発展“治療から予防・保健へ”という見地からの科学的必然性

の三つの大きな必然性という背景があるからです。

これまでの当学会の歩みを省みますと、“統合医療とは何か”についての市民の立場に立った理解を得るべき資料の提供や具体的活動について、必ずしも時宜に適する行動を続けてきた訳ではありません。敢えていえば、自画自賛の弁明も多くあったと考えています。

そこで、今年の方針として、

- 1) 市民の立場から見た統合医療
- 2) 近代西洋医学の立場から見た統合医療
- 3) 国策として、政府の立場から見た統合医療

の三つの柱を立てたいと考えています。

- 1) については、統合医療を理解出来るやさしい入門ガイドブックの作成
- 2) については、近代西洋医学における統合医療の位置付けなどを議論し、広く情報発信を行う為の国際会議、等の開催
- 3) については、諸外国が統合医療を国策として推進している実例を挙げ、わが国における国策としての『統合医療』を政府への提案する

これらについて会員からの要望や提案をまとめていきたいと考えています。

さらに、本年は学術年次大会の他に支部を中心とした地域レベルの学術講演や展示集会も計画されています。認定資格者の充実や認定施設の全国ネットワークの組織化も従来通り進める予定です。

また、本年4月（平成24年度）には、役員および代議員の改選も予定されており、会員の皆様のご協力によって、“国民のための統合医療”を目指して、素晴らしい学会の活動を展開したいと考えています。

“為せば成る為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり”

今年は辰年、私は年男です。

会員の皆様、本年も宜しくお願い致します。